

苔むす森の道と岩稜もある山梨百名山
黒川山・鶏冠山

実施日 2014年7月6日(日)
天候 曇り
リーダー 涌井 良明
S L 白石 恵美子
参加者 涌井良明、白石恵美子、山崎富美恵、渋谷京子、石原勝正、小名秀鋭、瀧澤きよの 計7名
費用 JR 2,280円(高尾起算)
車 1,950円 バス 300円 計4,530円
タイム 塩山(8:25)柳沢峠(8:50~9:00)六本木峠(9:50~9:55)横手山峠(10:20~10:30)黒川山分岐(10:55~11:05)鶏冠山(神社)11:20~11:30)黒川山三角点(11:40~12:10)昼食)六本木峠(13:16~13:26)天庭峠(14:05~14:15)丸川峠(14:50~15:00)丸川峠入口(16:00)裂石(大菩薩入口)BS(16:20~16:43)塩山南口(17:20~18:29)

梅雨さ中で中止になった、前日分の代替山行として計画した。

今日は雨の一休みが予想されたので車内はハイカーの姿が多い。塩山の六本木方面バス停もナンジャこりゃ状態、どうやら団体の大部隊が大挙して押し寄せてきたらしい。市営路線バスを独占するつもりらしい、一般登山者は大迷惑である。我々は次善の策でタクシー移動を選択して柳沢峠へ。静かな峠で態勢を整えて六本木峠への道に入る。



暑さを感じず、しっとり感のある森の空気に包まれ気分は爽快、しかも登りの傾斜も殆どないので森の散歩道の様相であるが、連日の雨で周囲も地面もタツプリ水を吸っているの、木の根、岩の上は要注意である。六本木峠で下山路になる丸川峠への道を分けて、黒川山方面へ直進する。緩い登って下り、林道を横切って水平に近い道を進むと、横手山峠である。

殆ど人にも会わず静かな森歩きが続く、少し山らしい登りがあって辿り着いた尾根が黒



川山分岐で、左に僅かに三角点のピークがある。尾根を乗越す様に短く下ってから鶏冠山(神社)ピークに向かう、今日のハイライトの小さな痩せ尾根と岩場が連続するがそれも短い時間で小さな社のある鶏冠山の岩峰である。立ち上がる大菩薩嶺の眺めが素晴らしいが残念、今日は遠望はなかった。写真を撮って先程の黒川山へ戻り、三角点ピークで昼食を摂る。



展望はなく広くもないが静かで落ち着いた休憩が出来た。午後のはちよつとした眠気覚ましから始まった。地図上にある稜線通しに少し進が藪が濃くなり進みにくくなってしまう、左下を通っている筈の先程通った道に向かって道のない藪の急斜面を強引に下る、地図にはあっても稜線の道を歩く人はいない様だ。ヤブ道を楽しんだ後は六本木峠まで戻り、丸川峠への道に入る。



ここもほぼ平坦な水平道が続くが所々にそれは見事な苔を配した日本庭園？を通る箇所があり単調な歩みにアクセントを与えてくれる。天庭峠で休憩後、覆っていた周囲が一気に開けた丸川峠に出る。一角

にかつて当会で忘年会で世話になった丸川山荘がある。今も相変わらず趣きのあつた小屋だ。今日は望めないが、らしい富士の姿が美しい峠でもある。さて、後は降りるだけだ。急で段差もあり、所々岩の交る下りをただ下に向かって下り続け、やがて沢音が大きくなって堰堤のある広い道に降り立つ。山道は終わりなり、更に丸川峠入り口から舗装路になって裂石(大菩薩入口)BSで歩き納めになった。登りの少ない山歩きだったが、梅雨の合間の憂さ晴らしとしては長い距離を歩けてまあ良かったかも。突然のお誘いに付き合ってくれた方々有難うございました。また、計画を提案いただいた白石(恵)さんに感謝します。(記&写真・涌井 良明)



川川峠へ入る。一角